

第三次滋賀県環境総合計画 平成22年度(2010年度)「数値指標」進捗状況

【凡例】

●評価について：達成率を基に以下のとおり星マーク「☆」により表しています。

達成率(%) 100%以上☆☆☆☆☆(5つ) 99～76 ☆☆☆☆☆(4つ)、75～51☆☆☆ (3つ)、50～26☆☆(2つ) 25以下☆(1つ) 算出不能-(バー)
算出不能とは22年度実績が出ていないケースや、中間目標数値が基礎データの取り方等の変更により、算定出来ないケース等をいいます。

●達成率(%)：達成率は、計画策定時の基準年度実績を0、中間目標を100とした場合の実績値達成状況としています。

算式は、中間目標が、基準年度実績より数値の増加を目指すものは、(平成22年度実績－基準年度実績)／(平成22年度中期目標－基準年度実績)×100
中間目標が、現状より数値の減少を目指すものは、(基準年度実績－平成22年度実績)／(基準年度実績－平成22年度中期目標)×100になります。

●平成25年度の「数値指標」の方向性について

「目標の方向性」は、基準年度と目標年度を比較して、数値の増加を目指す場合は「上矢印」、現状維持を目指す場合は「水平矢印」、数値の減少を目指す場合は「下方矢印」としています。

●進行管理の全体結果 全指標39指標(再掲含む)

☆☆☆☆☆(星5つ)・・・13指標

☆☆☆☆(星4つ)・・・7指標

☆☆☆ (星3つ)・・・3指標

☆☆(星2つ)・・・2指標

☆(星1つ)・・・2指標

算出不能-(バー)・・・12指標

【各指標の進行管理結果について】

1 持続可能な滋賀社会の構築に向けた人育ち・人育て(3指標)

指標内容	単位	基準年度	基準年度実績	平成22年度実績	平成22年度中期目標	評価	平成25年度目標		備考
							数値	方向性	
環境学習企画サポート件数(累計)	件	H19	496	1151	1,200	☆☆☆☆	1,900	↑ 増加を目指します	
びわ湖フローティングスクール(うみのこ)事業実施学校数	校	H19	全小学校 ※1 (特別支援学校等含む)	全小学校 ※1 (特別支援学校等含む)	全小学校 ※1 (特別支援学校等含む)	☆☆☆☆☆	全小学校 ※1 (特別支援学校等含む)	→ 現状を維持します	H22対象校数246
森林環境学習(やまのこ)事業実施学校数	校	H19	115	243	全小学校 ※1 (特別支援学校等含む)	☆☆☆☆	全小学校 ※1 (特別支援学校等含む)	↑ 増加を目指します	H22対象校数244

*1「全小学校」には、「県内の市町立小学校」のほか、「県立特別支援学校、国立小学校、国立特別支援学校、私立小学校、滋賀朝鮮初級学校、日本フィンランド学校」を含む。また、実施年度に対象学年がない場合は、全小学校から除外している。

2 持続可能な滋賀社会の構築に向けた基盤づくり(2指標)

指標内容	単位	基準年度	基準年度実績	平成22年度実績	平成22年度中期目標	評価	平成25年度目標		備考
							数値	方向性	
びわ湖環境ビジネスメッセにおける有効商談件数(累計)	件	H19	29,628	40,354	38,328	☆☆☆☆☆	47,028	↑ 増加を目指します	
環境こだわり農産物栽培面積	ha	H19	10,367	14,173	12,000	☆☆☆☆☆	12,000以上	↑ 増加を目指します	

3 各分野別の環境施策の推進

(1) 地球温暖化対策(3指標)

指標内容	単位	基準年度	基準年度実績	平成22年度実績	平成22年度中期目標	評価	平成25年度目標		備考
							数値	方向性	
温室効果ガス排出量の削減率(平成2年比)	%	H18	7.7	8.0(H20)	9	-	9以上	↑ 増加を目指します	
「みるエコおうち」プログラム取組世帯数	世帯		0	2,190	50,000	☆	50,000を維持	↑ 増加を目指します	
県内での太陽光発電による総発電容量	kW	H16	17,402	36,062	100,000	☆☆	100,000以上	↑ 増加を目指します	

(2) 自然環境(8指標)

指標内容	単位	基準年度	基準年度実績	平成22年度実績	平成22年度中期目標	評価	平成25年度目標		備考
							数値	方向性	
希少野生動植物種の「生息・生育地保護区」の箇所数	箇所	H19	2	7	10	☆☆☆	10	↑ 増加を目指します	
人工湖岸を再自然化した累計延長	m	H19	2,930	3,800	3,800	☆☆☆☆☆	3,800	↑ 増加を目指します	
外来魚の推定生息量	トン	H18	1,600	1,400(H20)	1,000	-	1,000以下	↓ 減少を目指します	
県の鳥カイツブリの生息数	羽	※2	629	805	800	☆☆☆☆☆	800	↑ 増加を目指します	※2「県の鳥カイツブリの生息数」の基準年の欄の数字はH17～H19年度までの平均値
琵琶湖のヨシの面積	ha	H14	151	176.76	159	☆☆☆☆☆	159以上	↑ 増加を目指します	
緑化されている道路の延長	km	H18	183.9	238.8	200	☆☆☆☆☆	240	↑ 増加を目指します	
都市公園面積(県民1人当たり)	m ²	H19	8.1	8.3(H21)	9.5	-	9.5	↑ 増加を目指します	
年間間伐実施面積	ha	H15	1,920	3,014	3,100	☆☆☆☆	3,100	↑ 増加を目指します	H21琵琶湖森林づくり基本計画改定に伴う目標値変更(2,600→3,100)

(3) 景観・歴史的環境(3指標)

指標内容	単位	基準年度	基準年度実績	平成22年度実績	平成22年度中期目標	評価	平成25年度目標		備考
							数値	方向性	
景観行政団体となった市町の数	市町	H19	7	8	8	☆☆☆☆☆	10	↑ 増加を目指します	合併に伴う目標値変更(11→10)
県指定(選定)文化財の件数	件	H19	375	397	435	☆☆	435	↑ 増加を目指します	
登録有形文化財の件数	件	H19	249	287	270	☆☆☆☆☆	300	↑ 増加を目指します	

(4) 水・土壌環境(11指標:内1指標は再掲)

指標内容	単位	基準年度	基準年度実績	平成22年度実績	平成22年度中期目標	評価	平成25年度目標		備考
							数値	方向性	
県内主要河川の水質目標の達成率	%	H19	79	96	100	☆☆☆☆	100	↑ 増加を目指します	
琵琶湖の透明度 * 3	m	H19	7.5	7.2	7.2	☆☆☆☆☆	7.2	↑ 増加を目指します	
琵琶湖の水質						-	-	↓ 減少を目指します	
(COD)北湖	mg/L	H17 ※4	2.6	2.6	2.6	☆☆☆☆☆	2.6以下	↓ 減少を目指します	
南湖	mg/L	H17 ※4	3.2	3.6	3.1	☆	3.1以下	↓ 減少を目指します	
(T-N)北湖	mg/L	H17 ※4	0.32	0.25	0.30	☆☆☆☆☆	0.30以下	↓ 減少を目指します	
南湖	mg/L	H17 ※4	0.36	0.28	0.33	☆☆☆☆☆	0.33以下	↓ 減少を目指します	
(T-P)南湖	mg/L	H17 ※4	0.018	0.016	0.018	☆☆☆☆☆	0.018以下	↓ 減少を目指します	
琵琶湖のプランクトンの異常発生日数と水域数						-	-	↓ 減少を目指します	
(アオコ)	日数	H19	5	16	0	☆☆☆	0	↓ 減少を目指します	
	水域	H19	3	3	0	☆	0	↓ 減少を目指します	
(淡水赤潮)	日数	H19	0	0	0	☆☆☆☆☆	0	→ 現状を維持します	
	水域	H19	0	0	0	☆☆☆☆☆	0	→ 現状を維持します	
琵琶湖の水泳場の「快適」ランクの箇所数	箇所	H19	7	3	10	☆☆☆	10	↑ 増加を目指します	
下水道を利用できる県民の割合	%	H19	83.5	85.8	85	☆☆☆☆☆	85以上	↑ 増加を目指します	
年間間伐実施面積(再掲)	ha	H15	1,920	3,014	3,100	☆☆☆☆	3,100	↑ 増加を目指します	H21琵琶湖森林づくり基本計画改定に伴う目標値変更(2,600→3,100)
整備を必要とする農業集落排水処理施設に対する整備割合	%	H18	97.3	98.7	98.2	☆☆☆☆☆	98.7	↑ 増加を目指します	
事業場排水基準遵守率	%	H19	95	90	100	☆	100	↑ 増加を目指します	
プレジャーボートの環境対策型エンジンの使用率	%	H18	29	59	100	☆☆☆	100	↑ 増加を目指します	
流域単位での農業排水対策の面積	ha	H18	14,036	15,176	-	-	16,200	↑ 増加を目指します	H22年しがの農業・水産業新戦略プラン改定に伴う、目標値変更(16,800→16,200)

*3 「琵琶湖の透明度」は、比較的経年変動が大きく、6.1m(H16年度)、6.8m(H17年度)、7.7m(H18年度)、7.5m(H19年度)、6.8m(H20年度)と推移している。(琵琶湖水質調査での北湖中央部9地点の年間平均透明度)

*4 「琵琶湖の水質」は、目標値設定の基となっている「第5期琵琶湖に係る湖沼水質保全計画」(平成18～22年度)における基準年である平成17年度の実績値を示している。

(5) 大気・化学物質・その他の快適環境(5指標)

指標内容	単位	基準年度	基準年度実績	平成22年度実績	平成22年度中期目標	評価	平成25年度目標		備考
							数値	方向性	
二酸化窒素、浮遊粒子状物質に係る環境基準達成率	%	H19	100	100	100	☆☆☆☆☆	100	→ 現状を維持します	
各駅の1日あたり乗車人数の合計	千人	H18	343.4	346.1(H21)	349.0	-	349.0以上	↑ 増加を目指します	
市街地における混雑時の自動車の平均速度	km/h	H17	23.8	25.1	-	-	28.5以上	↑ 増加を目指します	平成22年度道路交通情勢調査の調査方法の変更に伴う目標数値等の変更(30.0以上→28.5以上)
主要渋滞ポイント数	箇所	H19	9	6	5	☆☆☆☆	4	↓ 減少を目指します	
プレジャーボートによる騒音被害に関する苦情件数	件	H19	10	8	-	-	5	↓ 減少を目指します	指標内容と基準年度実績値に齟齬が見られたため、数値を精査の上訂正

(6) 廃棄物・資源循環(4指標)

指標内容	単位	基準年度	基準年度実績	平成22年度実績	平成22年度中期目標	評価	平成25年度目標		備考
							数値	方向性	
県民1人が1日に出すごみの量	g	H18	948	866(H21)	900	-	900以下 ※5	↓ 減少を目指します	
1年間に出る資源化されない産業廃棄物の量	千トン	H18	240	224(H21)	200	-	200を維持 ※5	↓ 減少を目指します	
1年間に出る資源化されない一般廃棄物の量	千トン	H18	367	310(H21)	210	-	210を維持 ※5	↓ 減少を目指します	
不法投棄など産廃不適正処理事案新規分年度内解決率	%	※6	71	79.5	80	☆☆☆☆	80	↑ 増加を目指します	

※5 「県民1人が1日に出すごみの量」、「1年間に出る資源化されない産業廃棄物の量」、「1年間に出る資源化されない一般廃棄物の量」は、平成22年度に「第三次滋賀県廃棄物処理計画」の策定を行い、平成27年度目標値を設定する予定。

※6 「不法投棄など産廃不適正処理事案新規分年度内解決率」の実績の数値は、H14年度～H18年度の平均値を示している。